

大規模火災地区支援

セブでは、頻繁に大規模な火災が発生します。日本では考えられませんが、木造の住宅密集地区の多いセブの貧困地区では、一度火災が起きると、一気に100件以上の家が燃えてしまいます。

そして今月も、セブ市の隣のマンダウエ市Basak地区で、120世帯361人が被災する火災が発生しました。

DAREDEMO HEROでは、常に「最も必要なものを、最も必要な場所に、一番いい形で届ける」という理念のもと、活動しています。今回も、現地のニーズを調査し、火災翌日から現地に入り、支援活動を行っています。

火災ですべてを失った彼らが、自力で元の生活を立て直すことは容易ではありません。今後も被災者に寄り添った支援を行っていきます。

皆様のご支援をお待ちしております。



新たな挑戦!!

今月6日に行われた「第14回セブ日本語弁論大会」に、DAREDEMO KIDSのエロナが特別スピーカーとして出場し、スピーチをさせていただきました。

日本に行く前から、エロナはじめ7人の子供たちは、「日本での経験をより多くの人々に伝え、貧困層に希望を与えたい!!」という気持ちを持っていました。

今回、このような形でその夢が叶い、今後の更なるを立てることができました。

これからも、子供たちが貧困層の希望となれるような機会を見つけていきたいです。



ご支援の輪



HERO'S HOUSEは、皆様のご支援のもと運営されています。

子供たちにとってより良い環境を作るため、たくさんの方々がご支援くださっています。今月も、新しいバスケットゴール、新しいパソコン、新しい本など、子供たちの勉強や生活に欠かせないたくさんのご支援をいただきました。

子供たちは、たくさんのご支援者様の温かいお気持ちに応えるべく、日々勉強に励んでいます。

今後とも皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



First communion



今月は、DAREDEMO KIDSの5人が、初聖体(First communion)を迎えました。初聖体とは、6~8歳になる子供が、キリスト教徒として洗礼後2度目に受ける大切な儀式です。当日は白いドレスを着て教会に集まり、生まれて初めて「キリストの体」と「血」を象徴するパンとぶどう酒をいただきます(聖体拝領)。

初聖体は子供たちにとっても、その親にとってもとても大切な儀式です。現地の信仰・風習・文化を尊重するDAREDEMO HEROでは、大人への一歩を踏み出した子供たちを囲んで、お祝いをしました。

奨学生の紹介



今月は、HERO'S HOUSE2のムードメーカー「アルマ」を紹介します。アルマの将来の夢は、船の操縦士です。実はアルマの父親は現在服役中で、お母さんが一人で4人の子供たちを育てています。



そんなお母さんのために、家を立てることが、今のアルマの一番の目標です。長男のアルマは、下の兄弟のことも考え、「何をしたい」の前に「どうしたら家族を助けられるか」を考えています。

アルマが自分の本当に「やりたいこと」で家族を助けられる方法を一緒に見つけていきたいと思っています。